

中小企業診断士登録養成課程 概要について



城西国際大学

大学院 経営情報学研究科
中小企業診断士登録養成課程

(1) 開設の目的

「中小企業診断士の登録等及び試験に関する規則」及び
「中小企業支援事業の実施に関する基準を定める省令」に基づき、
本学建学の精神に則った**中小企業診断士**を養成します

(2) 養成する中小企業診断士像



城西国際大学の創立者は
大蔵大臣を歴任した
故水田三喜男です。

水田は建学にあたって
「学問を通じた人間形成」を
唱道しました。

(3) 主体性のある中小企業診断士



当該登録養成課程も
この水田の教えを念頭に置きながら、
わが国経済の中核となっている
中小企業の今日的課題解決に、
意欲的にかつ主体的に取り組む
中小企業診断士を養成します。

(4)城西国際大学の目指す中小企業診断士

■中小企業診断士は先端的な中小企業のニーズに的確に応え得る**高度の専門的な知識**を持つ

■研ぎ澄ました現場感覚を持ち、**グローバルな視点**から経営者に適切に助言ができる有能な経営コンサルタントとしての能力

■経営者から**信頼**される、経営者の悩みを的確に受け止められる、そしてその課題に応えられる**人間味**のあふれた中小企業診断士です。





(5) 特徴 (その1)

- 設置場所が千代田区紀尾井町という
東京のビジネスの中心に近い
- 現在の仕事を続けながら
中小企業診断士の資格を得られます
- 大学院の修了資格(MBA)も得られます

特徴（その2）

■土曜日は全日に開講

9時05分開講、17時05分終了

場合によっては19時00分終了

一部、日曜日に開講の科目もあります

■平日は原則として、水曜日の6限目

19時05分開講、20時55分終了

注1)実務研修は平日の昼間にも授業は行われることがあります。

注2)2022年度より1コマ105分の時間割に変更になりました。詳しくは公開しているカリキュラム(時間割)をご参照下さい。

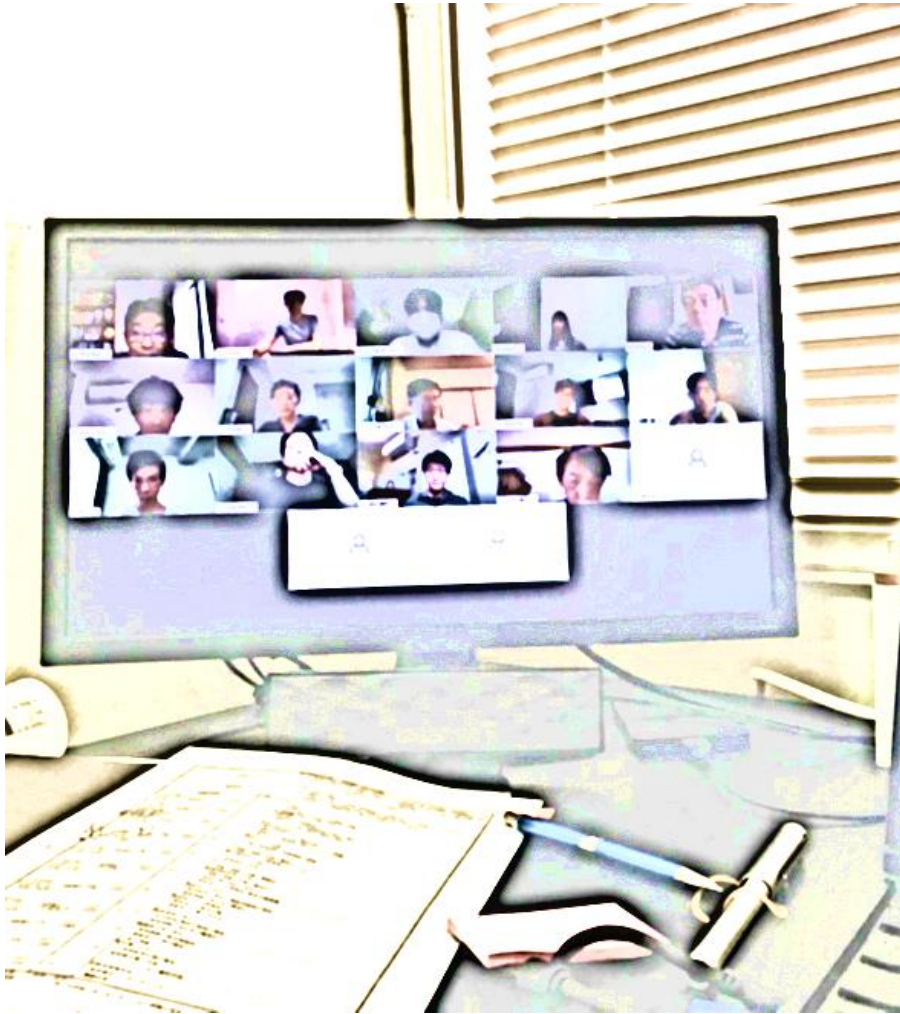
中小企業診断士登録養成課程__カリキュラム（2022年度）2022年3月9日版

		OL:オンライン		2 年次科目	1 年次科目	2 年次選択科目 ITC	1 年次選択科目 ITC
	時限	I	II	III	IV	V	VI
	時間	9:05~10:50	11:00~12:45	13:25~15:10	15:20~17:05	17:15~19:00	19:10~20:55
年月日	曜日						
3月21日	月						
3月22日	火						
3月23日	水						
3月24日	木						
3月25日	金						
3月26日	土			予備研修⑥	予備研修⑦	予備研修⑧	
		予備研修①	予備研修②	予備研修③	予備研修④	予備研修⑤	

				II	III	IV	V	VI
	時間			13:25~15:10	15:20~17:05	17:15~19:00	19:10~20:55	
年月日	曜日							
3月28日	月							
3月29日	火							
3月30日	水							演習Ⅱ①
3月31日	木							
4月1日	金							演習Ⅰ①
4月2日	土							
4月3日	日	総合経営①	総合経営②	総合経営③	総合経営④			
		財務会計①	財務会計②	経営戦Ⅰ①	経営戦Ⅰ②			

カリキュラム見本
最新版は大学ホームページに掲載されています

				II	III	IV	V	VI
	時間	9:05~10:50	11:00~12:45	13:25~15:10	15:20~17:05	17:15~19:00	19:10~20:55	
年月日	曜日							
4月4日	月							
4月5日	火							
4月6日	水							総合経営⑤
4月7日	木							
4月8日	金							
4月9日	土	総合経営⑥	総合経営⑦	総合経営⑧	総合経営⑨			
		財務会計③	財務会計④	コミュニケ①	コミュニケ②			



特徴(その3)

本学が特に力を入れている分野

- 情報・通信分野
- マーケティング分野
- 国際的な分野

（６）重点を置く専門知識（その１）

＜ITに強い中小企業診断士＞

情報化の進展は今や大企業にとどまらず中小企業においても利用が進んでいる。しかし大企業に比べると、情報システムを十分活用するまでに至っていない場合が多い。

- ・ 経営情報論
- ・ 起業マネジメント基礎論Ⅱ
- ・ ITコーディネータの専門科目5科目
（選択科目、原則全員選択、別途教材費8万円＋税）

ITに強い診断士の養成を目指します。

重点を置く専門知識（その2）

＜マーケティングに強い中小企業診断士＞

経営資源の限られた中小企業において、戦略的なマーケティングは重要度が高い。一方でマーケティングは大企業向けの理論として考えられる側面もある。中小企業が現実的に取り組めるマーケティング戦略立案や実行管理の知識を習得し、中小企業の経営力向上に貢献する事を目的とする。生活者視点、取引先視点を重視し、マーケティングを戦略的に経営判断の中軸に位置づける事で、有効なソリューションを提供できるスキルの習得を目指す。

- マーケティング戦略論Ⅰ
- マーケティング戦略論Ⅱ

重点を置く専門知識（その3）

＜国際的な視野のある中小企業診断士＞

中小企業が活躍する舞台も東アジア・東南アジアを含めた諸国に広がりを見せています。

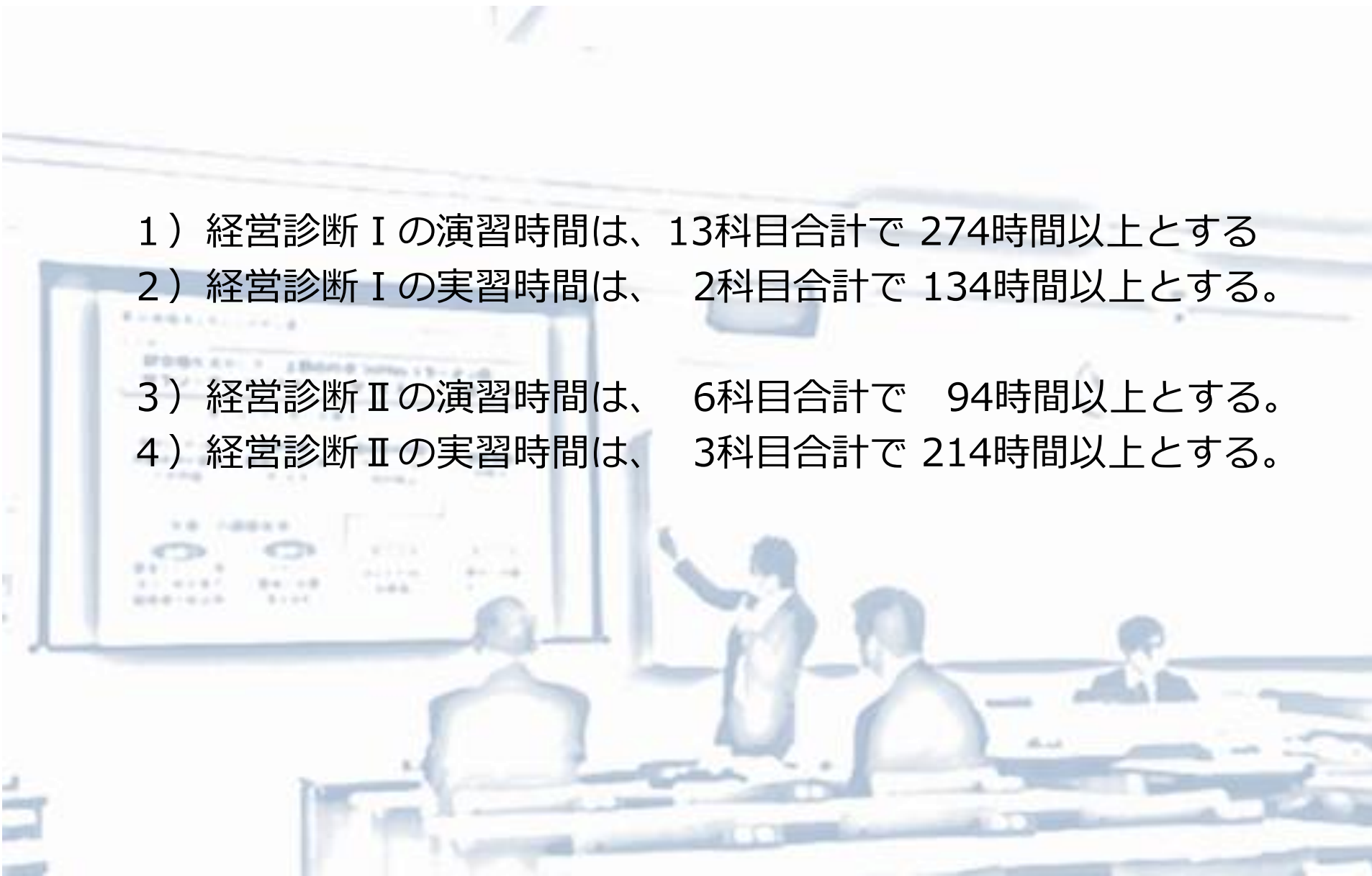
中小企業診断士に期待される役割も国際的な視野が求められるのは必然な流れです。

具体的には、起業マネジメント基礎論Ⅰ、経営戦略論などで国際化について学びます。

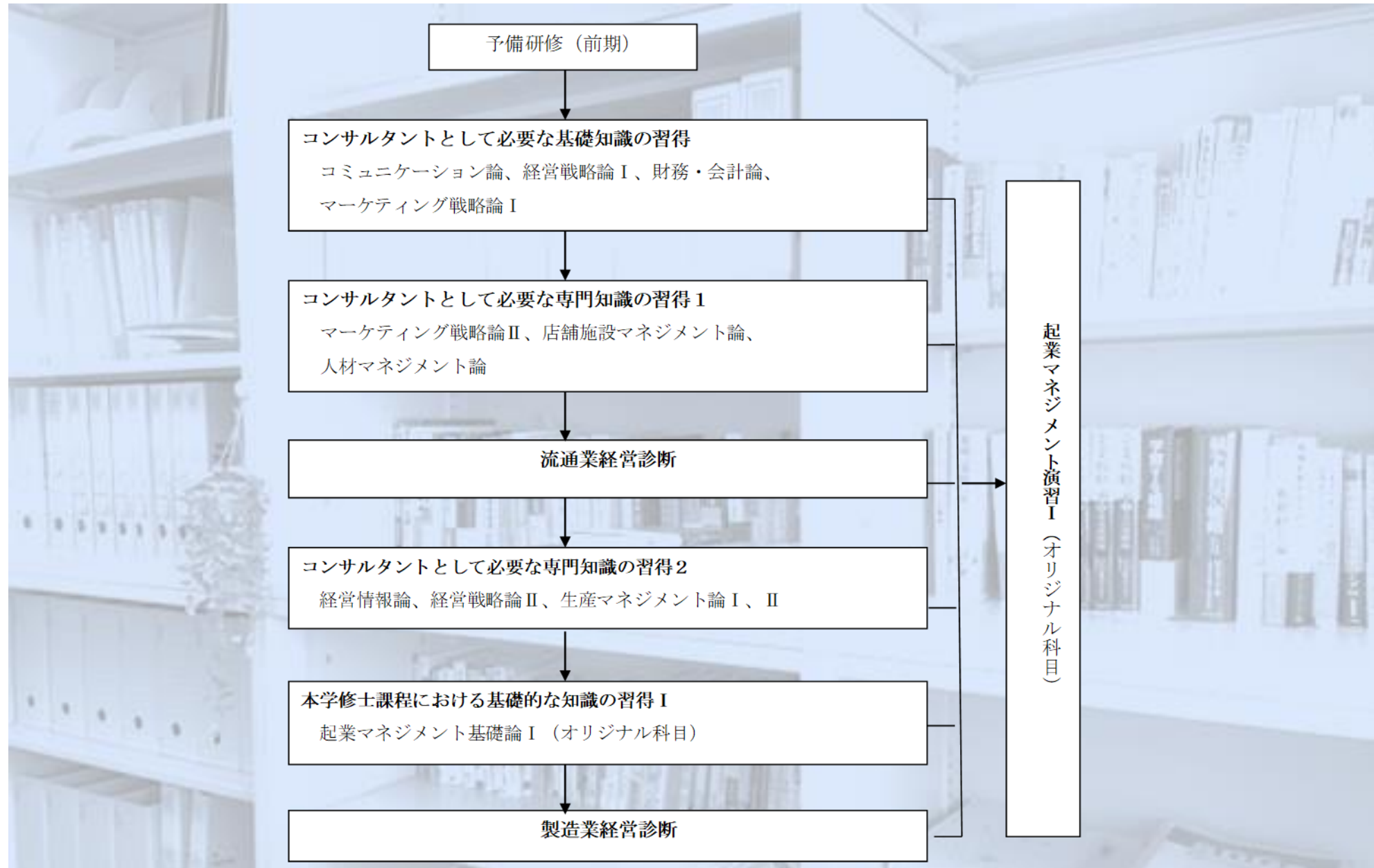
起業マネジメントⅠもしくはⅡの授業で特別講師を招いた授業を行う予定です。

(7) 登録養成課程指定科目の時間数

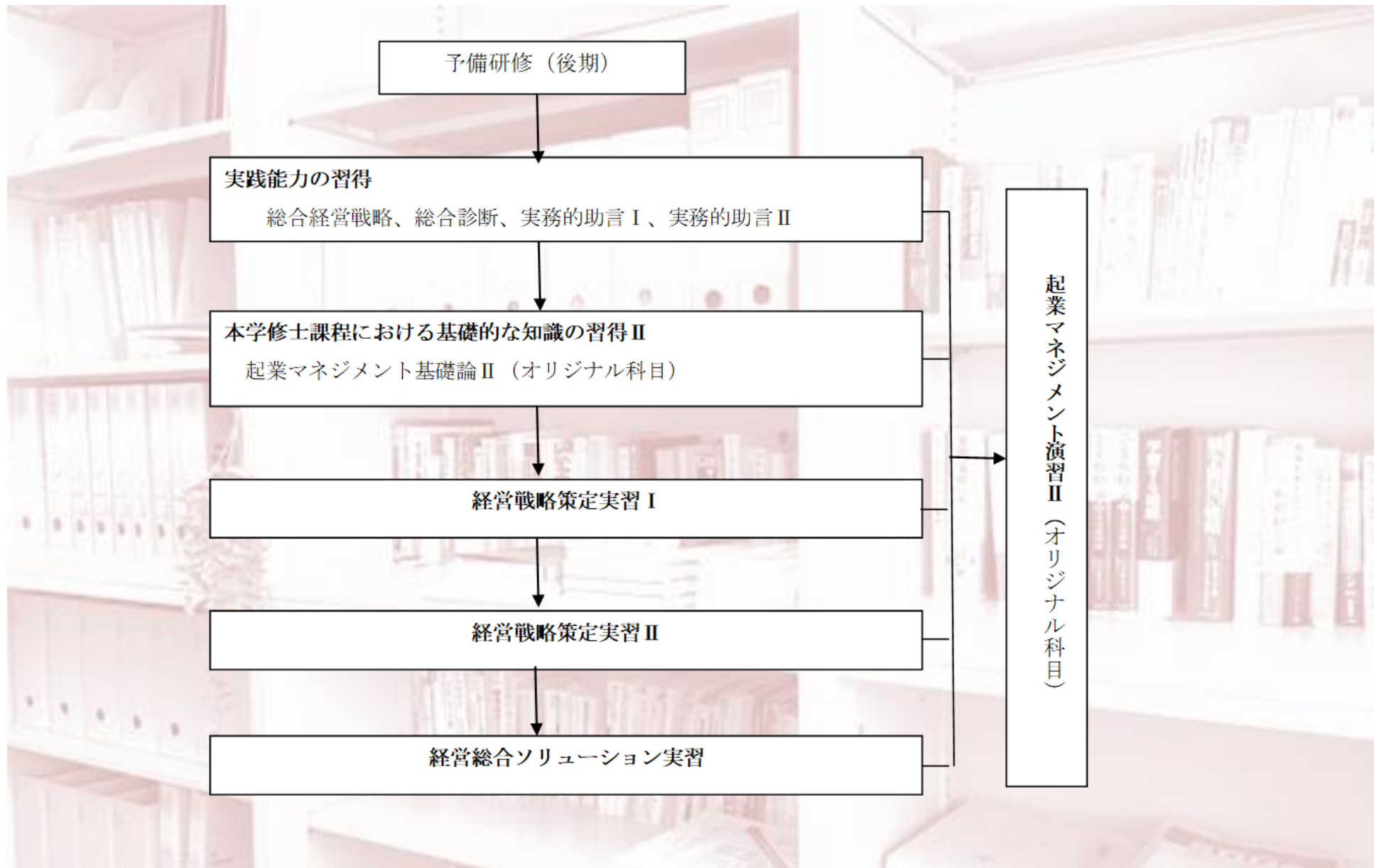
- 1) 経営診断Ⅰの演習時間は、13科目合計で 274時間以上とする
- 2) 経営診断Ⅰの実習時間は、 2科目合計で 134時間以上とする。
- 3) 経営診断Ⅱの演習時間は、 6科目合計で 94時間以上とする。
- 4) 経営診断Ⅱの実習時間は、 3科目合計で 214時間以上とする。



(8) 演習の進め方：経営診断 I



演習の進め方：経営診断Ⅱ



(9) 登録養成課程の単位の認定及び 成績評価基準等

- 1) 履修科目の単位認定要件は、**出席時間数が90%以上**の者で、かつ受講態度が良好だった者とする。ただし、病気又は家族の不幸など正当な理由による欠席の場合には、特に考慮されることがある。
- 2) 履修科目の合否の認定は、筆記試験又はレポート試験により担当教員が行うものとする。
- 3) 前項の試験の結果による成績の評価は、90点以上をS、80点以上90点未満をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をC、60点未満をFとし、S・A・B・Cを合格とし、Fを不合格とし、合格した授業科目については、修了とする。

(10) 中小企業診断士の登録資格 および学位（経営学修士MBA）の授与

1) 中小企業診断士登録養成課程の修了要件

総合審査委員会において、総合審査基準に基づく審査(最終試験)に合格した者で、運営委員会で認められた者を登録養成課程の修了した者と認定し、中小企業診断士登録養成課程修了証明書を授与する。

2) 学位

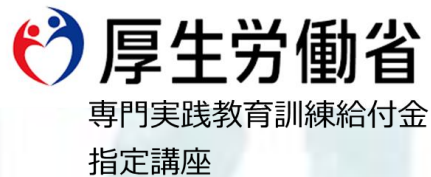
本大学院の登録養成課程を修了した者で、登録養成課程に2年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、本学学位規程の定める修士論文の審査及び最終試験に合格した者に、次の学位を授与する。

経営情報学研究科起業マネジメント専攻修士課程 **修士（経営学）MBA**

(11) 教育訓練給付制度について

本学中小企業診断士登録養成課程は、厚生労働省の「専門実践教育訓練の指定講座」に認定され、専門実践教育訓練給付金の対象となりました。受給資格のある方は、2年間のコース受講中80万円(上限)及び中小企業診断士登録がなされた後に32万円(上限)、合計112万円(上限)の給付金が支給されます。

支給要件期間があり、また受講開始日の一カ月前までに管轄ハローワークで手続きやキャリアコンサルティングを受けることが必要になります。給付金をご希望される方は、下記ホームページをご参照の上、最寄りのハローワークでご確認下さい。



城西国際大学
大学院経営情報学研究科
中小企業診断士登録養成課程

経営者に信頼され、悩みを受け取れ、
的確に課題に応えられる
人間味にあふれた中小企業診断士の育成を目指して

これから2年間、一緒に頑張りましょう！